

海外大学との共同学位（ジョイント・ディグリー）プログラム
「名古屋大学・ルンド大学国際連携総合医学専攻」の設置概要について

名古屋大学大学院医学系研究科は、スウェーデンのルンド大学医学部と共同で1つの大学院プログラム（名古屋大学・ルンド大学国際連携総合医学専攻）を開設し、平成29年4月から学生を受け入れます。

なお、文部科学省への申請・審査を経て、平成28年11月19日付けで当該専攻の設置が認められました。

【設置の趣旨・必要性】

- 近年、情報網の発達により医学・医療情報の世界レベルにおける共有化と、それを基にした医学研究、医療技術の発展が加速している。また、社会構造の変化や環境問題により世界共通の問題が多く存在し、かつ文化・言語などの社会背景により問題が複雑化している。それらの解決には専門性に突出するだけでなく、国際的な視点、多角的な思考から問題を客観的に捉え解決することが必要である。
- これを可能とする人材を育成するため、名古屋大学とルンド大学がお互いの教育・研究活動を共有できる新たな教育課程を編成・実施することに合意し、学位の質を国際的に保証する単一の共同学位「ジョイント・ディグリー」を授与する国際連携専攻を構築するに至った。

【新専攻の概要】

研究科：大学院医学系研究科

専攻名：名古屋大学・ルンド大学国際連携総合医学専攻

学位：博士（医学）

入学定員：4名

【期待できる効果】

海外大学における研究活動は、学生が国際的な視野を身につけ、また国際的な感覚を向上させる上で非常に重要なきっかけとなる。また、この共同教育プログラムの実施は、土台となる既存の教育課程の問題点などを洗い出し、改善を促すことにより、充実させていくことが可能となる。さらに、国際的に評価されている研究大学同士の連携は、世界的な認知度を向上させ、各大学の持つ国際競争力の強化につながる。



名古屋大学・ルンド大学国際連携総合
医学専攻 (International Collaborative
Program in Comprehensive Medical
Science between Nagoya University
and Lund University) 設置について

大学院医学系研究科

設置の目的

世界を取り巻く深刻な医療福祉問題に取り組むためには？

- 国際的な視野と多角的思考
- 医学分野における高度な専門的学識
- 社会福祉学的視点・思考

世界規模で起きている医療・福祉問題の解決を目指し、将来それを担う新たな人材育成プログラムの設置をする → 医療福祉分野で世界に先行するスウェーデンとの連携

(名古屋大学・ルンド大学)

社会福祉国家スウェーデンを代表するルンド大学と共同で研究教育プログラムを設置する。下記に示す両大学の強みを生かし、また相互に分野を補完することで単独の機関では難しい国際性、多様性に富んだ教育課程を設置し、他に例を見ない国際的かつ医療福祉に焦点を当てた教育プログラムを実施する。また学位授与者には両大学より共同学位を授与し、国際的にも十分評価されるに値する研究教育を受けたことを証明する。

名古屋大学

1. 神経と腫瘍の融合研究
2. 医工連携
3. 医療行政学
4. アジア展開

ルンド大学

1. 神経変性疾患を中心とした神経科学
2. ヨーロッパ医薬品・医療系企業との産学連携
3. 医療社会保険制度の研究
4. ICTを活用した保健医療分野に於ける研究

ルンド大学について

- ルンド大学は1666年に設立されたスウェーデンを代表する名門大学であり、スウェーデン南部の都市、ルンドにある。
- 8学部(法学部、文学部、産業社会学部、経済経営学部、自然科学部、医学部、工学部、芸術学部)からなり、42,000人の学生と7,000人を超える職員が在籍している。
- 大学の国際化にも非常に力を入れている。現在70カ国600校を超える大学と提携しており、多くの留学生が在籍している国際大学である。世界的に非常に評価されており、世界中から多くの学生が志望する大学である。
- 研究の分野においても世界的に非常に高い評価を受けていることから、ルンド大学は国際的な大学ネットワークにも参加し、学術研究的に優れた大学だけが属する The International research-intensive university network, Universtias 21 (U21)、The League of European Research Universities (LERU)の主要メンバーとなっている。
- 名古屋大学とは2014年に学部間協定を締結し、学生交換プログラムを開設している。

教育及び研究指導の方法

ディプロマポリシー

「高度な専門性と学識を備え、解決の道筋を見つけるデザイン力に富み、異なる文化を理解出来る国際性を備え、国際的共同研究を推進し、医学と人類の福祉の発展に積極的に貢献できる人材」

名古屋大学・ルンド大学 国際連携総合医学専攻

- 一貫性を持った共同教育カリキュラム
- 相互の強みを生かした特徴的なプログラム構成
- 双方向の学生交流・教員交流
- 修学期間延長することなく、共同学位授与

名古屋大学



東山キャンパス



鶴舞キャンパス



大幸キャンパス

ルンド大学

スコーネ大学病院



医学部



学位合同審査
による国際的
な質保証

輩出する人材像

- 国際的共同研究を推進し、医学と人類の福祉の発展に積極的に貢献できる人材
- 高度な専門性と学識を兼ね備えた人材
- 国際共同研究など国際協力へ挑む人材
- 高度な専門性と学識を備え、解決の道筋を見つけるデザイン力を育む人材
- 医療・福祉の企業リーダーなどの人材

期待される効果

- 国際的視野の開発と国際的感覚の向上
- 多角的視点からの考察力の向上
- 国際的な人脈形成
- 学内研究活動の活発化と外部資金獲得への波及効果
- 本プログラム実施による両大学の共同研究の推進
- 共同教育プログラム実施による大学院教育の質の向上
- さらなる国際化の活性化
- 世界トップ大学との連携による、国際的認知度、評価の向上と大学の国際競争力の強化

研究分野別教員対応表

基礎医学 領域

名古屋大学

42名(教授 36名、准教授 6名)

生物化学、微生物・免疫学、先端応用医学、実験動物科学、細胞科学、神経科学、腫瘍病態学、高次神経統御学、器官系機能調節学、分子・細胞適応学、機能形態学、病理病態学、発生・再生医学、社会生命科学、健康増進医学、分子医薬学、臨床医薬学

ルンド大学

21名(教授 20名、准教授 1名)

バイオメディカル、神経科学、腫瘍学、細胞分子生物学、生殖医療、バイオマテリアル、生理学、免疫学、感染学、環境医学、公衆医学、遺伝子学、血液細胞学、生命工学、生物化学、生物分子薬学、健康科学、公衆衛生学、グローバルヘルス学、社会医学、疫学、心臓・心臓血管システム学、内分泌・糖尿病調節医学、臨床医薬学

臨床医学 領域

36名(教授 33名、准教授 2名、講師 1名)



病態内科学、高次医用科学、脳神経病態制御学、頭頸部・感覚器外科学、病態外科学、運動・形態外科学、生体管理医学、病態医療学、発育・加齢医学、総合管理医学

12名(教授 8名、准教授 4名)

腎臓学、心臓学、外科学、内科学、整形外科学、脳神経外科学、放射線医学、耳鼻咽喉科学、臨床病理学、老年科学、総合診療医学、婦人科・生殖医学、眼科学

年次概要

国際的な研究の発展に興味をいだいている学生を対象

	1年次		2年次		3年次		4年次		
	4月	10月	4月	10月	4月	10月	4月	10月	
 名古屋大学	名古屋大学・ルンド大学国際連携総合医学専攻入学審査	研究立案の開始	専門科目						研究発表・学位合同審査 両校の研究科長、指導教員、外部の審査委員を含めて合同学位審査委員会を組織する
			名大で研究	ルンド大学の施設の研究室で研究 (2年から4年前期迄の間で、1年間以上)					
			国際連携最先端医学特論 (1年次～3年次の間で履修)						
 ルンド大学	名古屋大学・ルンド大学国際連携総合医学専攻入学審査	研究立案の開始	専門科目						
			ルンド大で研究	名古屋大学の施設の研究室で研究 (2年から4年前期迄の間で、1年間以上)					

共同学位記
 日本語・スウェーデン語・英語併記
 Joint single PhD Degree

主指導教員のいる大学
副指導教員のいる大学

各種委員会等 組織図

名古屋大学・ルンド大学国際連携総合医学専攻



入学者選抜の概要

入学定員:4名
(各大学2名ずつ)

1. 合同入試準備委員会

合同入試準備委員会を設立し、募集に先立って入試要件の確認などを行い入試に向けた確認作業を行う。

2. 入試準備

両大学担当部署より入試情報の公表、願書受付、審査の準備などを行う。

3. 合同入学審査委員会

入試開始前に合同入学審査委員会を設立する。

4. 入試

両大学にて決められた日程にて入試を行う。合同入学審査委員会委員による、面接、語学力、書類審査により専攻入学を審査する。

5. 合格者発表

試験終了後、合同入学審査委員会委員による審査を行い合格者を決定する。また同時に両大学にて合格者情報を共有し、審査に問題がなかったかなど検討を行い、両大学責任者の合意の上、最終的な合格者を決定し公表するものとする。

年次進行について

6. 入学後

1年次 名古屋大学・ルンド大学国際連携総合医学専攻の学生は、国際共同研究の内容について調整担当教員に相談する。調整担当教員と指導教員は相手先の受入研究室と継続できる研究内容に関して立案を開始する。★1年次は母校の研究室で研究する。専門科目、共通科目(受講年次選択性)を受講する。

講義科目は国際的研究組織構築のための戦略・手法・実例の教授を目的とする。1年次～3年次のいずれかの年次で履修する。

- テレビカンファレンスシステムなどを使用した講義
- 両大学教員を中心に学外の著名な研究者による講義

2年次から4年次の前期まで 少なくとも1年間以上を協定校の施設の研究室で研究を行う。専門科目、共通科目(受講年次選択性)を受講する。

4年次 研究を遂行し、論文を作成する。修了時には博士研究の発表と学位合同審査を行う。論文が査読のある国際誌に掲載確定後に学位授与に向けた審査をおこなう。

7. 合同学位審査委員会

両校の指導教員と外部の審査委員を含めた合同学位審査委員会を組織し、課程修了時に論文審査、最終的な学位授与の決定を行う。

8. 共同学位授与

合同学位審査委員会による最終合意の上、名古屋大学・ルンド大学共同学位が授与される。